

—お客様の利便性向上に向けて—

銀座線、丸ノ内線、東西線のダイヤ改正

—朝、夜間・深夜時間帯で列車増発、最終列車の時刻繰り下げを実施—

東京メトロ（本社：東京都台東区 社長：奥 義光）では、お客様の利便性向上を図るため、銀座線、丸ノ内線、東西線でダイヤ改正を実施いたします。

今回のダイヤ改正計画では、主に朝ラッシュ時、夜間・深夜時間帯での列車増発による混雑緩和を図るだけでなく、一部区間の最終列車の時刻を繰り下げ、メトロ線内での利便性向上及び深夜時間帯における他社線との接続改善を図ることといたしました。

なお、最終列車の時刻繰り下げについては、「東京の地下鉄の運営改革会議」（第 1 回を本年 7 月 30 日（火）に開催）における東京の地下鉄のサービスの改善・一体化施策の実現にも寄与するものです。

各路線のダイヤ改正の概要は、下記のとおりです。

記

1. 実施日

銀座線、丸ノ内線	平成 25 年 11 月 1 日（金）
東西線	平成 25 年 12 月 2 日（月）

2. 実施内容

（1）銀座線

<平日>

・朝ラッシュ時間帯の利便性向上

8 時台～9 時台の渋谷駅発上野駅行き 4 本を浅草駅行きに延長、また上野駅発渋谷駅行き 6 本を浅草駅発に変更し、浅草駅～上野駅間の利便性向上を図ります。

・夜間・深夜時間帯の利便性向上

20 時台～22 時台に浅草駅発渋谷駅行きを 2 本、上野駅発渋谷駅行きを 1 本、渋谷駅発浅草駅行きを 3 本増発し利便性向上を図ります。加えて、丸ノ内線の増発（次頁参照）により銀座線と丸ノ内線の運転本数を合わせ赤坂見附駅での接続改善を図ります。

<土休日>

・朝時間帯の利便性向上

8 時台に浅草駅～渋谷駅間 3 往復の増発により運転間隔を現行 5 分から 4 分とすることで列車の待ち時間を短縮するとともに、丸ノ内線の増発（次頁参照）により銀

座線と丸ノ内線の運転本数を合わせ赤坂見附駅での接続改善を図ります。

(2) 丸ノ内線

<平日>

・朝ラッシュ時間帯の利便性向上

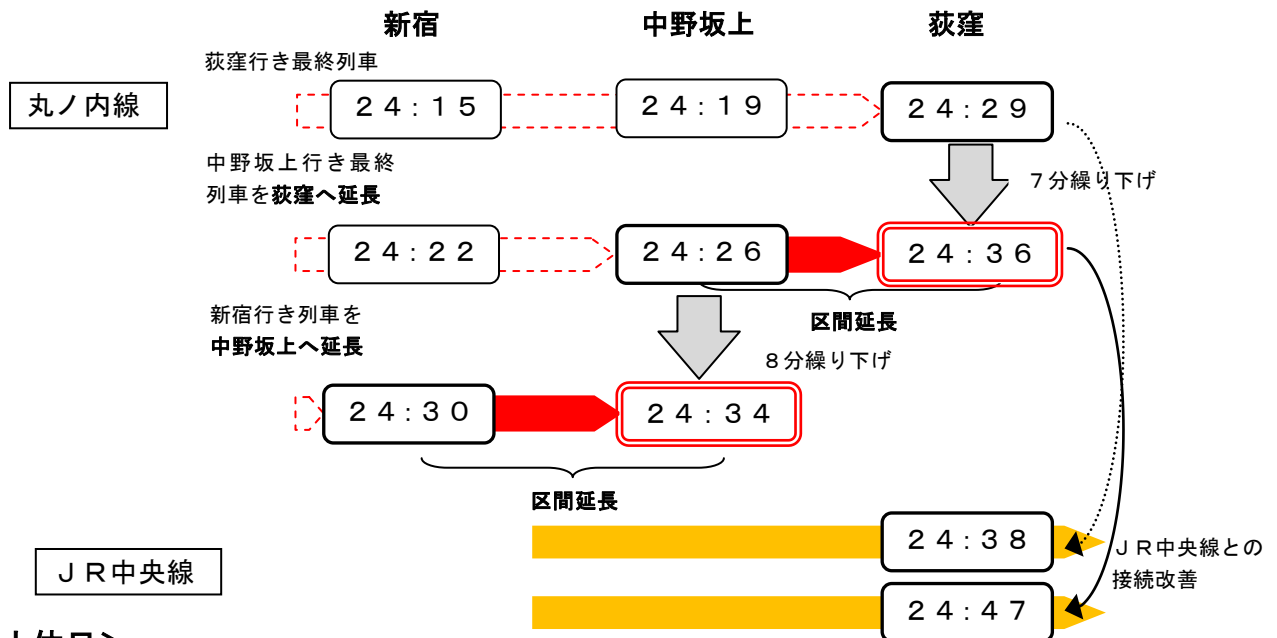
池袋駅発新宿駅行き(8:20着)1本を荻窪駅行きに延長、また新宿駅発(8:26発)池袋駅行き1本を荻窪駅発に変更し、新宿駅～荻窪駅間の利便性向上を図ります。

・夜間・深夜時間帯の利便性向上

21時台～23時台に池袋駅～荻窪駅間3往復増発し利便性向上を図ります。加えて、銀座線の増発(前頁参照)により銀座線と丸ノ内線の運転本数を合わせ赤坂見附駅での接続改善を図ります。

・区間延長による最終列車の繰り下げ

池袋駅発(23:46発)中野坂上駅行き(24:26着)最終列車を荻窪駅行きに延長し、中野坂上駅から荻窪駅への最終時刻を7分繰り下げるとともに、池袋駅発(23:55発)新宿駅行き(24:30着)を中野坂上駅行きに延長し、新宿駅から中野坂上駅への最終時刻を8分繰り下げること、新宿駅～荻窪駅間の利便性向上及びJR中央線との接続改善を図ります。



<土休日>

・朝時間帯の利便性向上

8時台～9時台に池袋駅～中野富士見町駅間3往復、池袋駅～新宿駅間2往復の増発により池袋駅～新宿駅間の運転間隔を現行5分から4分とすることで列車の待ち時間を短縮するとともに、銀座線の増発(前頁参照)により銀座線と丸ノ内線の運転本数を合わせ赤坂見附駅での接続改善を図ります。

(3) 東西線

<平日>

・朝時間帯の混雑緩和及び利便性向上

6時台の東陽町駅発三鷹駅行き及び同中野駅行き各1本（計2本）を西船橋駅発普通列車に変更することにより、西船橋駅～東陽町駅間の混雑緩和及び利便性向上を図ります。

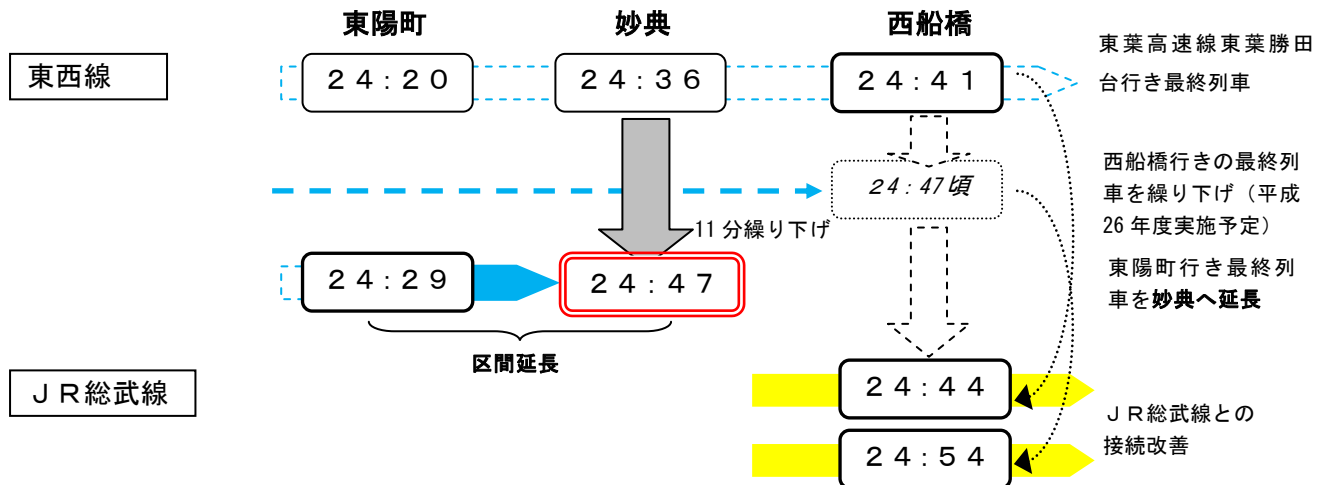
・深夜時間帯の混雑緩和

22時台～23時台に中野駅～西船橋駅間を2往復増発し、混雑緩和及び利便性向上を図ります。

・区間延長による最終列車の繰り下げ

中野駅発（24:01 発）東陽町駅行き（24:29 着）最終列車を妙典駅行きに延長し、東陽町駅から妙典駅への最終時刻を11分繰り下げること東陽町駅～妙典駅間の利便性向上を図ります。

※平成26年度中に、現在の中野駅発東葉勝田台駅行き最終列車のあとに、中野駅発西船橋駅行き普通列車を1本増発し、妙典駅から西船橋駅への最終時刻を繰り下げの計画です。



<土休日>

・区間延長による最終列車の繰り下げ

中野駅発（23:51 発）東陽町駅行き（24:19 着）列車を妙典駅行きに延長し、東陽町駅から妙典駅への最終時刻を10分繰り下げること東陽町駅～妙典駅間の利便性向上を図ります。

以上